

福祉文化通信

～well-beingへの道～

2006.7.1 vol.57



(編集委員)
安倍 大輔
長瀬 晃二
馬場 精一
山中 俊子

TEL&FAX: 048(828)3793 ホームページアドレス: <http://www.fukushibunka.or.jp/> メールアドレス: jimukyoku@fukushibunka.or.jp

事業活動報告



右：ミスソントンの歯の前で
下左：鶴井院
下右：鶴井院・源田公彦連絡地圖



東京
福祉
散歩

た 6月11日には 新潟大会で発足した新しい理事会メンバーによりて今年度第1回目の理事会が開催され 様々な議論がなされました。そして今年度の事業についても統一具体的にな できました

去る5月2日には 第1回 東京福祉散歩 が行われました。当日はあいにくの雨でしたが 19名の参加者が 東京都内の社会福祉の歴史に登場するさまざまな史跡めぐりを行いました。普段なら見過してしまうビルの間に ある

いは大都会東京の緑のオアシスたる蓮園の中に、それらの史跡はありました。その詳細が載っており、また今回講師を務めていた大河内河島修さんのお著作『福社史』を参考して、明治東京についても本通信の書籍紹介でも取り上げましたので、そちらもご覧ください。

また今年の全国大会は、埼玉県さいたま市にある浦和太学で行われます。現在、実行委員を中心に企画を立てておられるところです。11月25日、26日に行われるこの大会にも

是非とも多くの会員の参加をお待ちしています。詳細は同封の第1次案内をご覧下さい。

地方ブロックの活動も活発です。東北ブロックでは、昨年に引き続き、宮城県と協力して、11月3日に地域福祉セミナーを栗原市で行います。地域の人も関わって設立された特養を会場に、地域における福祉文化のあり方にについて考えます。北陸ブロックでは、新潟福祉文化を考

る会恒例の大現場セミナーを

学ゼミの開催 九州プロ ク
としては初のプロ ク大会が
11月に長崎で行われる予定で
す。その他のプロ クでも
例年の活動を引き続いだり行
していく予定です。

9月16日 17日に行います。
今年は海を渡り 佐渡での開
催です お寺で宿泊しながら
掘るまいか 明日はもと
いい日 の上映 社協の管理
する温泉の視察 もちろん体
験も また佐渡ならではの朱
鷺や舞士共能の保存活動につ
いても学ぶ予定です また11
月には昨年の大会での出会い

樋井文化人インタビュー



鈴木
隆雄さん

立教大学大学院「21世紀」
企画デザイン研究科

○ 大内はもとより、門司の血筋の出でた者といふに
頗るいざ躍ひで城のドウガ。

A 28歳の時に病気をして障害を持つことになりましたが、当時は一般の会社で働いていました

Q. その後、よく現在の活動を？

Q 研究や実践の具体的基準を教えてください

Q 現在はまだまかな団体・機関でありますか
A 沢福祉のまちをつくる会の代表としています。

A 約8月間 フルドライブもかねて AIR—空—バフミング・アツク研究会主催の西東京アクトスクールに参加していました。ここは障害のある人もない人も共に活動し演

A 最低限の数値目標というよりもと積極的に能力を認めで欲しいんです。私の様にこうして話す分には何の障害となるいない人もいる訳で、雇う雇わない以前に、企業に個人個人の能力を知って貰うチラシを与える制度がないのが問題だよ、と思いますね。

を中心に取り上げています。そして最後の第四章では貧困層の人々の生活に光を当てています。現代の日本はかつてないほど福祉が人々の注目を集めています。時代です。そういう時代においては、

人本ム事始め 第三章 知識人たる活動 第四章 スラム街はるかなり の全四章で構成されています

第一章では四谷の二葉幼稚園 上野の万年尋常小学校や福田会育児院など 第二章では聖ヒルダ養老院と滝野川の東京養老院が取り上げられ そうした福祉施設の歴史的変遷について触れられています 第三章では家庭学校を開設した笛岡幸助とキンダースクールを設立した片山潜と

を訪れました ツア に参加できなか
た人 または関東に住んでいない人であ
ることで 東京の福祉の歴史を学ぶ
と身近に感じることができるの
でし う

本書は写真やイラストによる
地図が所々に挿入され、読み手
がそれぞれの土地をイメー
ジして、やすいやうにな
っています。そ
うした配慮がされている一方で、
歴史的資料による丁寧な実証が
されていて、アカデミックな讀
者であっても知的な刺激を受け
る」とは間違ひありません。

去る5月27日に、春の東京場
址散歩と題したワンデーツア
ーが開催されました。ツアード
リーバーは河畠先生が自らガイド役とな
った。

「」連絡しますと言われて今まで一度も連絡はありません

会参加に取り組んでいます。

河出書房新社
福祉史を歩く
東京・明治

いて人々の眼は福祉の現在あるいは未来に向いており、歴史に対する認識が低いように思われる」と本書では述べられています。

高階題介

河口文庫
福井県史

四十二



Q. 今回の審査大綱の実行委員会は、これまででありますか、この通り企画を実行しておられたことがありますか。

劇の舞台上演をします。その経験から障害のある人たちの表現力の豊かさ、人間の素晴らしさや私たちにはないユニークなオリジナリティに気づかされました。福祉文化という学舎活動においても福祉文化活動を通じてさまざまな方たちの社会参加の可能性に期待しています。

『福音文化研究』第16号原稿募集

日本福祉文化学会では、現在2006年度末に発行する『福祉文化研究』16号の投稿原稿を募集しております。研究者の方々だけでなく、日頃の実践で研鑽を重ねてらっしゃる現場の方々にも素晴らしい実践活動を是非ご投稿いただきたい、と編集委員一同願っております。会員の皆様のご応募をお待ちしております。

四 四 四 四

投稿原稿の種類・査読の対象となるものは、①～③です。
論文 (Original Article)
福祉文化の視点や生活者の視点に立つ独創的な研究論文および考察

400字×40枚以内（要約、図、表）

研究ノート (Short Article)

起に関する論文 400字×30枚以内（要約、図、表および写真も含む）

③その他 (Others)

- ・福祉文化の視点や生活者の視点に立つ活動、政策、動向などについての提案・提言
 - ・福祉文化の視点や生活者の視点に立つ研究、調査論文の総括および解説
 - ・福祉文化の視点や生活者の視点に立つ調査研究
いわゆる400字×30枚以内（書類、図、表および写真も含む）

④ 球場實踐驗 (Activity Report)

- ・福祉文化の視点や生活者の視点に立つ現場実践から生まれた問題提起や提案、提言、方法論
 - ・福祉文化活動に関する実践報告（活動の結果創り出された作品等の紹介、報告も含む）

いざれも400字×3枚以内（図、表および写真を含む）

◎資料 (Information)

福祉文化を論じ、または実践する上で有益な資料
400字×25枚以内（図、表および写真も含む）

⑥会員の声 (Letter)

掲載論文に対する意見、海外事情、関連学術集会の報告など
400字×4枚以内(図、表および写真も含む)

◎ 標社文化譯

福祉文化の視点や生活者の視点から執筆された著作についての書評
400字×4枚以内(図、表および写真も含む)

◎締 切：2006年8月31日（水）（当日消印有効）

②査読結果及び採否について：全ての原稿について精査の後、11月中旬までに各投稿者に了承確認します。

③その他：書式等詳細については、『福祉文化研究』15号P147～151に示してありますので、ご一読の上ご投稿ください。

の賃料満付告：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-20-11

第一シル/バービル3F (株)タクト・ワン気
日本福祉文化学会「福祉文化研究」編集委員会

◎開心會社：日本福祉文化學會專題

〒336-0974 桜玉櫻さいたま市緑区大崎3551

湖南大学3号馆 九里塘合福社文化研究

TEL & FAX 048 (878) 3793

e-mail : jimuukyoku@fukus

福祉文化創造の情熱を燃やそう

さいたま大会のチマは、福祉文化の創造をキワドとしている。福祉の分野はその昔、文化活動からも少しも縁遠い世界として考えられていました。しかし、20世紀後半には衣食住のレベルさらにには生き甲斐・自己実現をめざすレベルに至るまで、文化活動の重要性が強調され、その具体的な条件を整えることが地域でも施設でも取り組まれてきました。まだ決して充分ではありませんが、今日ハドの面では20年前にくらべればかなり文化的な条件は進んで来たといえます。各種の集会場の増加、パリアフリー、社会の

われています。しかし、ソフトの面の質しきが露呈しています。創造的情熱や時間が乏しくなっています。高齢者介護や障害者支援の現場では、制度の改革によって今までの文化活動を維持できなくなっている所も少なくありません。各種のNPOの文化活動も確実な進展を見せていましたが、それらは一部の人びとの献身的情熱に支えられているのが実態です。

今回の第17回大会では、最近の福祉分野を襲い始めた様ざまな波に抗して、力強く文化創造に挑戦いたしました。授賞式は11月の全国大会の場で行います。その際、活動の紹介等も行う予定ですので、ぜひともう一度参加ください。

す。障害を持ちつつ、地域を施設で展開している日々の文化活動で、高齢期を生きつゝな価値観を豊かに高めようとすると意欲一これにふれて明日への元気を得たいと存しております。

会場となる私たちの浦和大学は創立4年目の新しい大学です。今までのすばらしい大会とくらべると、手造りで素朴な大会進行となるでしょ。うが、大せいの会員の方々が情熱を抱いて参加されることを期待しております。

ヤシラ

第2回福祉文化実践学会賞の
受賞について

2005年度日本福祉文化学会
年次報告書について

福祉文化実践報告集
第一号の刊行について

ヤンマシン

正なる審査を行い、2つの団体を候補者として選考。理事会の場で1団体に決定いたしました。

われています。しかし、ソフトの面の質しきが需半であります。創造的情熱や時間が乏しくなっています。高齢者介護や障害者支援の現場では、制度の改革によってこれまでの文化活動を維持できなくなっている所も少なくあります。各種のNPOの文化活動も確実な進展を見せていますが、それらは一部の人びとの献身的情熱に支えられているのが実態でし

す。障害を持ちつつ、地域を规划设计で展開している日々の文化活動、高齢期を生きつゝな価値観を豊かに高めようとする意欲、これらにふれて明日への元気を得たいと奉しております。

今後となる私たちの浦和大学は創立4年目の新しい大学です。今までのすばらしい大会をくらべると手造りで素朴な大会進行となるのでしょが、大せいの会員の方々が情熱を抱いて参加されることが期待しております。

新学会員（6月13日現在）

個人會員

- ・佐田 守 (社福)朝日新聞厚生文化事業団
 ・岡崎利治 京都女子大学生活福祉学科
 ・相川章子 聖学院大学人間福祉学部
 人間福祉学科
 ・佐藤典子 社会副法人至誠一ムス才三
 ・鈴木清弘 群馬社会福祉大学入試広報課員

《学生会日》

- 内澤早苗 　　浅井学園大学大学院
 - 山崎登志子 　　浅井学園大学大学院
 - 神都雅子 　　浅井学園大学大学院
 - 村田泰弘 　　東洋医療福祉専門学校
社会福祉学科
 - 松坂淳子 　　豊崎純心大学大学院
人間文化研究科
 - 遠野智司 　　日本女子大学大学院
 - 大杉泰子 　　長崎純心大学大学院

西漢文獻

四六

清华大学